

本当の自分と出会うために

白鳳小学校 6 年
古田 千尋

「あなたの個性は何ですか？」と聞かれたら、なんと答えますか？私なら自分の長所を答えると思います。ですが、そんな自分の良いところだけが、個性なのでしょうか。最近、「個性を大切に」という言葉をよく耳にします。私はこの言葉を聞くたびに、「個性」って何だろう？「個性を大切に」とは、何をどうすることなのだろう？と疑問に思います。「個性的なファッション」という言葉を使うとき、多くの人が他人とはちがう、その人だけの特ちょう的な服装をイメージすると思います。しかし、周囲を見渡せば、「人と同じじゃないやなので...。」と言いながら、同じようなファッションに身を包んでいる人を大勢見かけます。その時その時の流行に飛びつき、それが毎年繰り返される...。「個性」とはそんなに表面的で画一的なものなのでしょうか。

私は、改めて辞書を引いてみました。「他の人とちがった、その人特有の性質」とありました。自分の個性は、他と比べないと、わからないものなののでしょうか。辞書で調べればスッキリ解決すると思っていた私の疑問は、そこでまた、大きくなってしまいました。

私は手を挙げて発表することがとても苦手でした。自分の意見をどう思われるか人目を気にしてしまい、自分がいやでした。

これまでお話したように、「個性」というものについて色々考えてきましたが、その結果、私は、自分なりの考えを見つけ出しました。それは、一言で言えば、「個性」とは、人と比べるものではなく、自分の良いところだけでもない、自分を創りあげている、あらゆる部分だということです。自分がいやだと思っていた、私の内気な性格もやはり自分自身だったのです。そして変わりたいと思った自分も、紛れもない私自身なのです。

「個性的なファッション」とは、人と比べた

り流行に流されたりすることではなく、本当に自分が好きな、自分に合ったものを身につけることを指すのだと思います。自分が自信をもって、気に入って身につけるものが、その人の「個性的なファッション」となるのではないのでしょうか。「個性」に良いも悪いもありません。好きもきらいもないのです。いいえ、良いも悪いも、好きもきらいも、全て自分の個性なのです。

つまり、個性とは、自分自身そのものなのです。その上で、「個性を大切に」とは、何をどうすることなのか、改めて考えてみました。結論からいうと、自分の全てを受け入れる、ということなのです。人を羨んだり、自分を嘆いたりするのではなく、自分を認め、自分を励まし、更に、今自分が気づかない、輝く自分の個性を見つけていけることが、本当の意味の、「個性を大切に」ということなのだと思います。そんな自分の個性を大切にできたとしたら、その先にあるものは、自分の可能性です。新しい自分を発見するには、今の自分、今までの自分を理解することが必要です。内気な自分、変わろうとする自分、そのどちらも大切な自分として受け入れ、さらに、新たな自分を発見していきたいと思っています。

今、私は小学六年生です。この先、人生には様々なできごとが待っています。まだ自分でも気づかない自分の個性が、自分の中に眠っているはずです。私は、そんな新たな自分との出会いを楽しみに、希望を胸に前向きに生活していこうと思います。

みなさんも、ちょっと立ち止まって、鏡の中の自分をのぞき、自分自身を見つめ直してみてください。